

市報 とよかまち

12/10

1995年〈平成7年〉

No.470

■発行/十日町市役所
〒948新潟県十日町市千歳町3丁目3番地
TEL.0257-57-3111
■編集/企画人事課広報広聴係

特集 当間高原リゾート

- ▼こみ減量化協力店制度 8・9
- ▼新しい民生児童委員 10・11
- ▼まちづくりシンポジウム 12・13
- ▼市民のページ 14・15
- ▼お知らせ 16・17



ベルナティオいよいよ来年オープン

当間高原リゾートの出発は、民間活力により地域振興と内需拡大をねらった「総合保養地域整備法（リゾート法）」が、昭和62年6月に施行されたことに始まりました。翌63年12月には、国から地域指定を受けました。

あれから8年、バブルの崩壊など大きな波風を受けながらも、母なる大地（珠川台地）に宿ったベルナティオ（美しきふるさと）は、いよいよ来年10月に産声を上げようとしています。

地域活性化のため、官民一体となって取り組んだこのビッグプロジェクト。企業は、市民は、このリゾートとどのようにかわかっていったらよいのでしょうか。そんなことを考える組織として、「あてまフォーラム」が生まれました。

今回の特集は、いよいよ形として見えてきた当間高原リゾートと「あてまフォーラム」の活動内容をお伝えします。

ご紹介いたします



スノーチュービングコース (イメージ)



スノーモービルコース (イメージ)

冬のベルナティオ

雪もまたベルナティオの楽しみ。広大な雪原を舞台に、スノーモービルコースやスノーハイキング (歩くスキー) コースが配置されます。またホテルの前には、日本で初めての本格的なスノーチュービングコースなど、ファミリー向けの雪の広場が設置されます。

BELNATIO

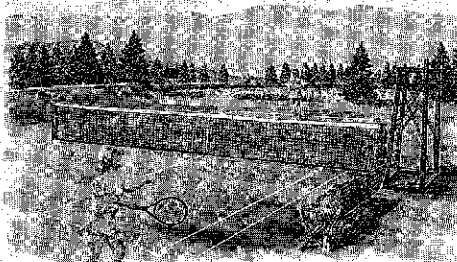
ATMA KOGEN RESORT

「ベルナティオ」とは、イタリア語の「美しき故郷 (Bel Paese Natio)」から生まれた名前です。十日町市が、北イタリアのコモ市と姉妹都市の関係にあることから名付けられました。

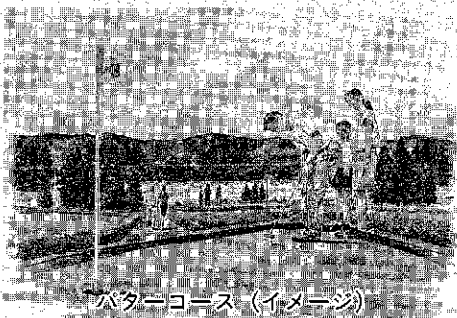
現在、十日町・コモ姉妹都市交流協会を通じ、ベルナティオのシンボルマークを作成中です。



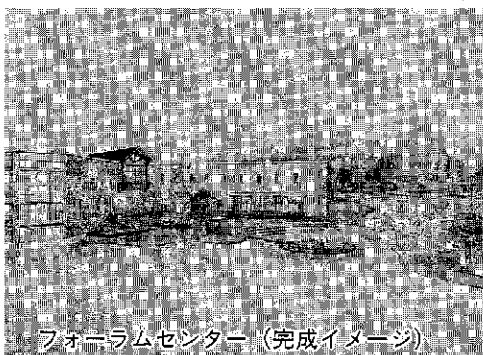
ベルナティオゴルフコース (14番ホール)



テニスガーデン (イメージ)



ウォーターコース (イメージ)



フォーラムセンター (完成イメージ)



セントラルガーデン・レイクシアター

夏のベルナティオ

当間高原の美しい大自然をフィールドに、様々なスポーツが楽しめます。18ホールのゴルフ場、全天候のテニスコート (オムニコート10面) や天然芝のバターゴルフ場、多目的グラウンド、さらに湖や水上ステージ、フラワーガーデンのあるセントラルパークなど、ベルナティオの夏は太陽でいっぱいです。

建設が進む ベルナティオを



建設中のホテルベルナティオ



ホテルベルナティオ (完成イメージ)

ホテルベルナティオ

ベルナティオの中核となるホテルは「自然との共生」をテーマに、地形になじんだ低層の建物となります。カジュアルレストランと郷土料理、宴会や研修にも対応できる施設、そして露天風呂付の大浴場「あてま温泉」、カラオケルームなどがあります。



スタディーモデル (ツインルーム)



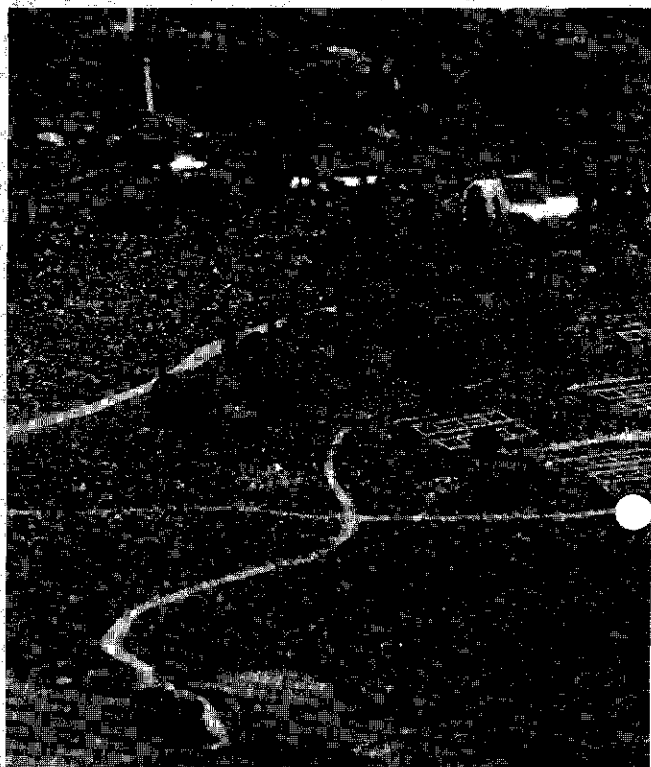
コテージ (完成イメージ)

多彩なホテルの客室

ホテルの客室はツインルーム、ファミリールーム、フレンズルーム、コテージなど多彩です。家族やグループ、スポーツや研修など、訪れるお客様の人数や目的に合わせて利用できます。地域の風土と文化に合った、自然なインテリアデザインが特徴です。

フォーラムセンター

セントラルレイクに面して立つフォーラムセンターは、スポーツと文化活動の基地となります。温泉施設や室内プール、そして軽スポーツも楽しめるホールは、小劇場、講演会や演奏会にも利用できます。そして、会議や工芸などに利用できる多目的ルーム、ラウンジも備え、ベルナティオの交流の拠点にもなります。



建設中のフォーラムセンター

① 花いっぱいのリゾート

■ フラワーガーデン

春から秋にかけて、花の絶えない大面積の花壇です。広大な芝生広場の中心に広がる、いわば大地のタペストリーです。

■ 花だら

菜の花、ジャーマンアイリス、コスモスなどがその季節になると、私たちの視界いっぱいに群生します。開花期に合わせて、市民参加の催し物も開催されます。

■ 花の谷

ハイキングがてら家族連れやグループで、池や樹木に囲まれた自然の中、菜の花、ジャーマンアイリス、コスモスの群生を楽しむことができます。

② 忘れていた心を 想い出すリゾート

■ フィッシング

四季折々の自然の中で、リゾートに点在する湖水で、魚と知恵比べを楽しむ。釣り具の貸し出しもあります。

■ カブト虫の林

枯れ木を積んだり、落葉を集めたりするなどして、カブト虫がごく自然に発生しやすい環境を整えています。

子供たちが自然の中でカブト虫を発見し、採集することを楽しむことができます。

■ きのこの林

原木が地面に伏せ込んであり、自然の中を歩きながらキノコを探せる林です。インストラクター付きの「キノコ狩りツアー」も企画されます。

③ 自然と一体となる リゾート

■ いのちの水辺

ガマ、ヨシ、ミズバショウなどの生える水辺の空間を散策。当間全体に及ぶ、多様な野生生物の生息できる空間（エコトープ）との最初の出会いの場となります。

■ 緑の回廊

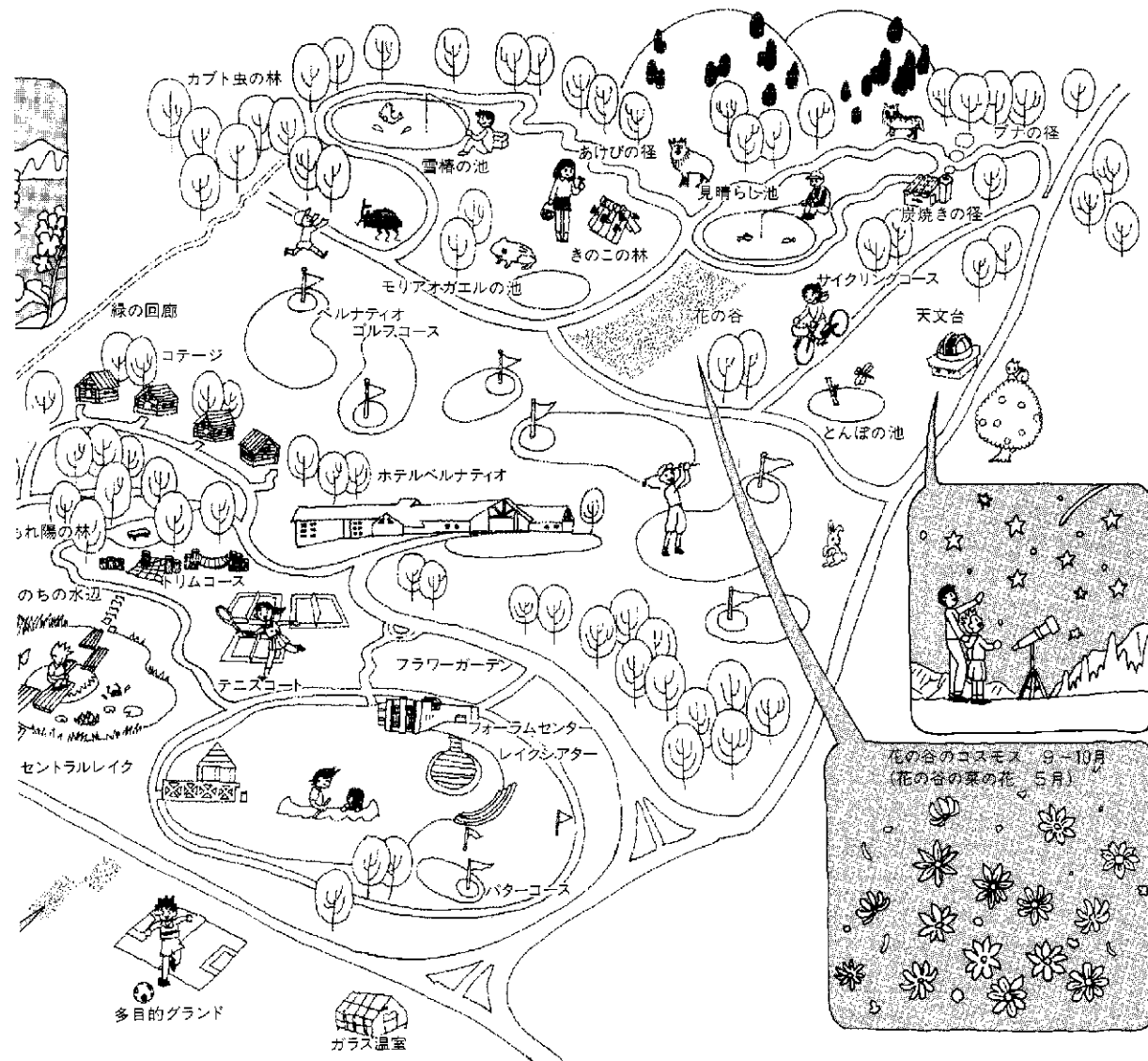
小動物がリゾート敷地内を動き回れることに配慮したけもの道。人間にとっても、自然観察の小道として楽しめます。

■ 森の散策道

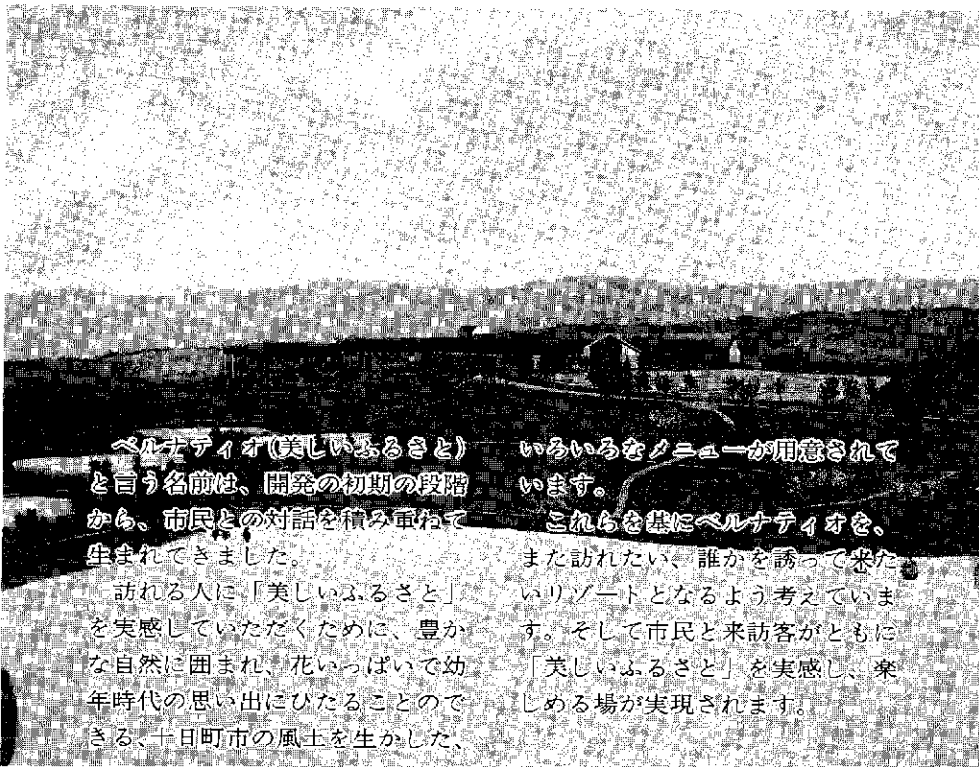
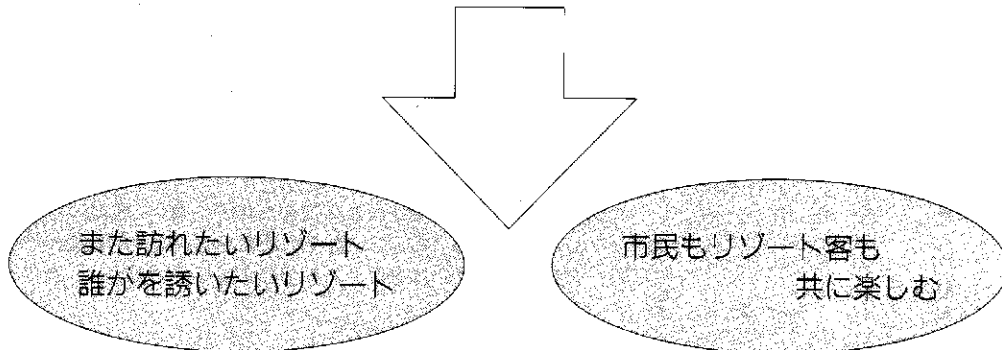
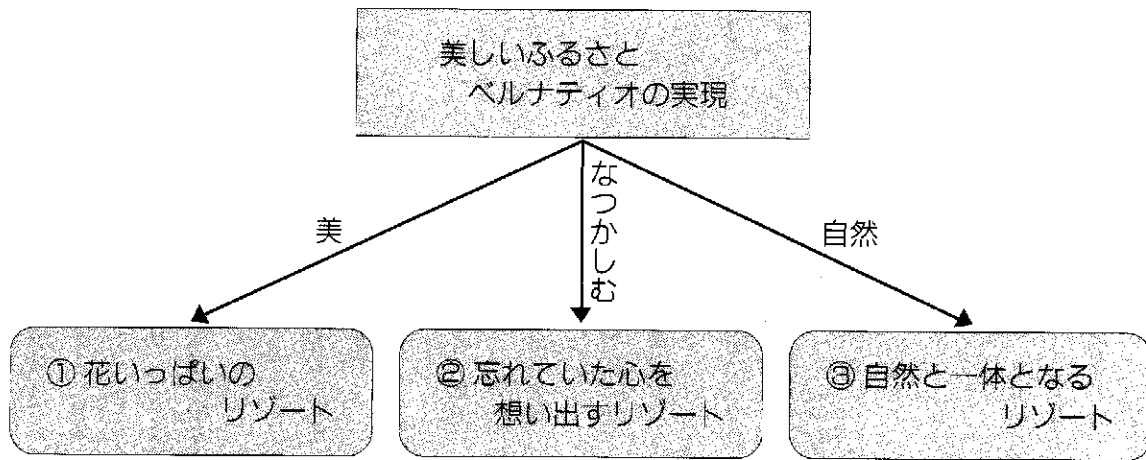
散策道を歩きながら植物や動物の種類、生態などを楽しく見て回る、いわば青空の下の博物館です。

■ 天文台

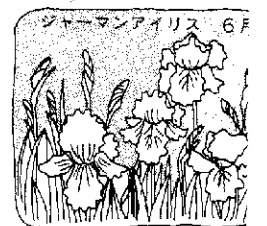
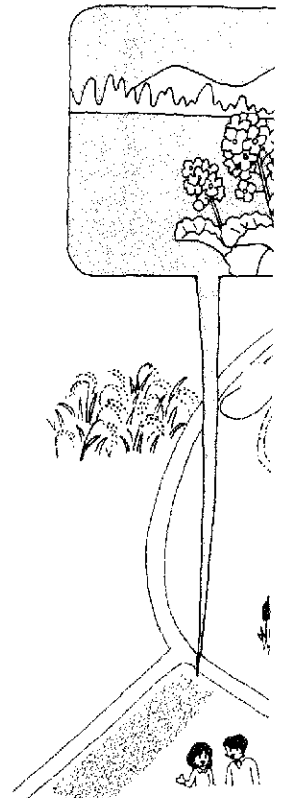
観測用ドームと大型望遠鏡を中心に、数々の小型望遠鏡も備え、インストラクターの解説で、親子で星空を楽しめる施設です。



美しいふるさと ベルナティオを実現するために



花だいらの菜の花 5月
(花だいらのコスモス 9-



あるリゾートを 『フォーラム』から

「風の人、土の人、どちらか一方だけが群れても駄目なのです。風と土で風土になるのです。ここで生まれ育った土の人、外から吹き込む風の人の調和が大切です」

これは、岩手県岩手町でムギワラギク栽培からドライフラワーづくりを行っている「アトリエ野のはな」の代表である坂本ゆりさんが、先般十日町市を訪れた際に語った言葉です。

なんて印象的で意味深い言葉でしょう。「あてまフォーラム」もリゾートを通して地域づくりを考えながら、地域に、そして私たちの心に「新しい風」を起こしていきたいと考えています。

「より魅力的な、賑わいのあるリゾート創出」を目指して、「あてまフォーラム」は、今年5月に生まれました。

「あてま」という新たなリゾートの舞台で、「地域資源」という材料を仲介にして、リゾート客と私たち地域住民が積極的に「交流」し合うことが、魅力的で、賑わいのあるリゾートそして十日町市、妻有地域に結びつくと考えたわけです。

これまで16人の個性ある運営委員が月2回定期的に集まり、あてまフォーラムの位置付けの相互理解を深め、活動の基本となるイベント、プログラムの具体案について検討を進めてきました。

まだ、骨格案という段階ですが、地域間交流企画案

地域間交流企画案

具体的な活動の展開には、先進

「あてまフォーラム」会則

1 目的

このフォーラムは、「地域住民と来訪客が気軽に集い、地域の自然、歴史、文化、ひとと接する場」として、様々な活動を通じて「地域住民の力で、より魅力的な、賑わいのあるリゾートを創り出していく」ことを目的とします。

2 組織

このフォーラムの目的を達成するために、次の組織、機関等を設けます。

- (1) 代表 このフォーラムを、代表します。
- (2) 運営委員会 前記の代表と次の運営委員、事務局で構成し、このフォーラムの活動の全体方針、中長期ビジョン、年次活動計画、予算を決定します。
必要に応じて、テーマごとに分科会を設けることができます。
- ① 運営委員 このフォーラムの目的について共通認識と理解を持ち、フォーラム活動の企画を行い、その運営に当たります。また、メンバーが立案した企画を効果的に実施するための支援を行います。
任期は2年間とし、再任は妨げません。
- ② 事務局 このフォーラムのネットワークの維持管理、活動のPR、会計、その他事務局機能を行います。
- (3) メンバー このフォーラムの目的に賛同し、活動の企画を持った団体、組織、個人とします。自らの企画を運営委員に提案し、実施が決定した企画を主催します。また、運営委員の企画実施に参加します。
- (4) 顧問 このフォーラムに意見を頂くため、必要に応じて置くことができます。
- (5) 監事 このフォーラムの会計を、監査します。

3 事業

このフォーラムは、目的を達成するため次のことを行います。

- (1) ネットワークの構築・整備、情報提供
- (2) イベントの開催
- (3) プログラムの実施
- (4) 研究・開発の推進
- (5) その他目的達成に必要なこと

4 活動資金

毎年度、運営委員会で資金計画を立て、自己調達したものをもち、このフォーラムの活動のための資金とします。

事例を学びながら、新たな人、グループ、資源のネットワークの構築がまず必要と考え、全国の成功事例を生で学ぶ機会を企画しています。

●坂本ゆりさんを囲んで

11月22日(水)・23日(木)の両日にかけて、「アトリエ野のはな」の坂本さんを招いて、セミナーとドライフラワーづくり講習会を開催しました。

●フォーラム鹿島とガタリンピック

12月9日(土)、佐賀県鹿島市の地域振興仕掛人4人を招き、シンポジウムを開催しました。

●三島ゆうすい会を迎えて

12月16日(土)には、静岡県三島市のホテルの里づくりと河川環境整備活動について、事例研究を行います。

●熊本県小国町と大分県湯布院町

来年3月には、小国町の「悠木の里づくり」、湯布院町の「映画祭・音楽祭」に関するシンポジウムを予定しています。



坂本さん指導のドライフラワーづくり講習会(11月23日、あてま塾)

より魅力的な、賑わいの 新しい風は『あてま』

イベント企画案

雪、花、音をテーマにする。毎年恒例化していく。周辺のイベント



6月のアイリス祭り (新聖会主催)

トと重複しない時期を設定する。などの基本方針をもとに企画しています。

●雪待ちフェスタ

広大な雪原でのゲームや遊びを中心とした冬まつり。

●アイリス祭り

特徴的となったジャーマンアイリスなどの観賞を中心とした花まつり。

●サマーカーニバル

野外劇場などを舞台にした音楽の連続開催を中心とした夏まつり。

プログラム企画案

妻有地域の良さを米訪客が感じ

あなたが主役になってください

新しい風を起こす作業は、大勢の個人、グループ、団体が参加することで弾みがつきます。現在の運営委員はそのきっかけづくりを手探り状態で始めているのです。この地が好きだからこそ、この

ままじつとしていられない。リゾートの舞台を私ならこう使う。そんなあなた、あてまフォーラム活動に参加しませんか。ご意見、参画希望などありましたら最寄りの運営委員、事務局までお知らせください。

取り、繰り返し訪れてもらうためのきっかけとして、リゾートを包む自然を楽しみながら理解してもらおうと考え、企画しています。

●ATEMA自然スクールの開催

受講生を募集し、自然系、歴史・民族系などの様々な素材を活用

した小プログラムを、年12回程度開催します。例えば、木の実、ホタル、鳥、星、雪等の自然観察会、山菜の採取と料理体験、農業体験、民具づくり、小正月体験、着物パルティなどを考えています。

●ATEMA自然ノートの制作

あてまの自然を解説・紹介する冊子を制作し、スクールで使用したり、頒布にも対応します。

これらの骨格案は、今後様々な角度から練り直し、肉付けをして実施計画にしていきます。

同時に、これら企画の提案・実行などフォーラム活動に参画していただける個人、団体、グループを募集し、ネットワークの整備を図りながら、あてまフォーラムの存在価値を高めていきたいと考えています。

「あてまフォーラム」運営委員会

区分	氏名	所属団体等	住所
代表	梅田健次郎	柳当間高原リゾート社長	水沢 (あてま塾) 稲荷町2
運営委員	熊木寿一	クロス10勤務	春日町1
	越村伸弥	十日町織物工業協同組合財政課係長	原
	小林弘樹	自営業(タカキヤ)、骨髄バンクを育てる会、青年大会野球監督	馬場1
	近藤元	十日町市農業協同組合総務部企画管理課係長	加賀系屋町
	高野哲次	元水沢商工会青年部長 高野建築、馬場畜場会	馬場2
	高橋由美子	十日町市社会教育課主任 学芸員、十日町彫刻会会員	川西町 中屋敷
	富井武彦	新聖会(にいはいかい) 昭和建設(株)勤務	高田町1
	南雲敏夫	十日町星の会会長、自然観察指導員、桐屋織物(株)勤務	上町
	庭野茂美	ジャズ共和国官房長官 市議会議員、ハローホリデー	南鏡坂
	樋口利明	日本雪氷学会会員 市議会議員	土市3
	保坂友成	十日町商工会議所経営指導員 青年会議所副理事長	小黒沢 小黒沢
	宮沢秀行	宮沢建設(株)常務 石影シンボ企画運営委員	山本町2
	宮沢政枝	小黒沢業組合、主婦、農業	山本町4
	宮沢しずい	小黒沢業組合、主婦、農業	河内町 上新田
	村山政文	大好き十日町会PR部会副部長、村山工建(株)社長	関柳 高橋
	渡辺孝一	十日町織物工業協同組合青年部会長、渡吉織物(株)	高岡
監事	馬場良朗	十日町市収入役	治子 芳
	近藤哲雄	十日町商工会議所 専務	弘 勝
事務局	地域開発室 ☎57-3111(内線261) 室長	潤 村土 良一	和 彦
	柳当間高原リゾート ☎52-5789	プロジェクトマネージャー 補佐	高岡 課長代理

近いうちに行います

ごみ減量化協力店に関するアンケート調査

「ごみ減量化協力店」制度

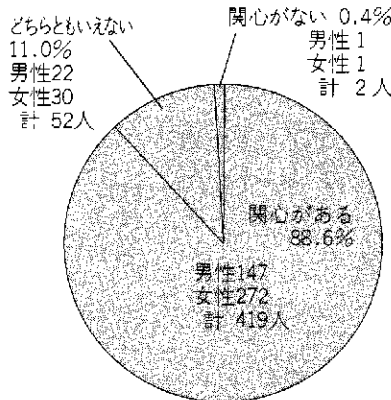
市では、平成8年7月から「指定袋の導入」「持ち込みごみの有料化」、さらに今年4月からは「資源ごみの分別収集」を皆さんの協力により行い、効果を上げてきています。

今後一層のごみ減量化を進める方策として、新たに「ごみ減量化協力店」制度の導入に取り組もうと、このたび「ごみ減量化協力店に関するアンケート調査」を行いました。結果は左のグラフのとおりです。今年度中に制度を設けるため、アンケート結果を参考

にしながら、その内容について「ごみ減量化懇談会」で話し合いをしているところです。

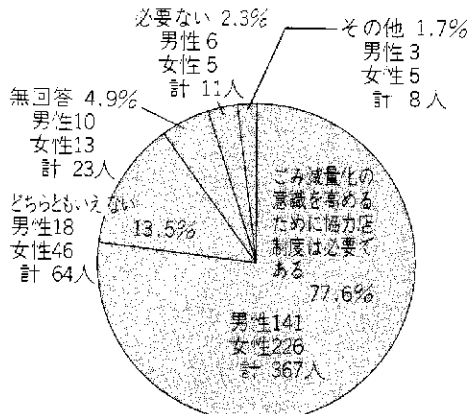
現在、県内では新潟市が実施していますが、この制度は登録した協力店から①商品の簡易包装②買物袋持参の奨励などに取り組んでもらうものです。今後、大型店や一般商店を対象に登録の呼びかけを行う予定です。実施の際には、消費者となる市民の皆さんの協力をお願いします。

【問】ごみの減量化やリサイクルの必要が高まっていますが、それらに関心がありますか。



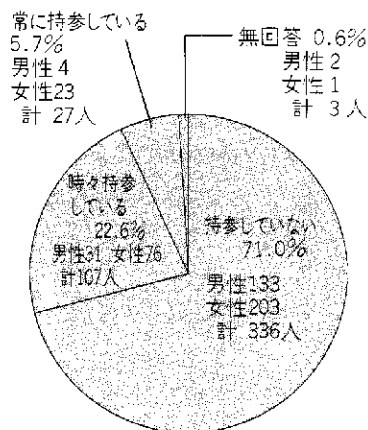
回答者473人中419人(88.6%)の人が「関心がある」と、ごみ減量化に対する意識の高いことがうかがえます。この高い率は、指定袋の導入、持ち込みごみの有料化、資源ごみの分別収集によるものと考えられます。

【問】商品の簡易包装や買物袋(スーパーバック)持参などを奨励する「ごみ減量化協力店」制度の導入を検討しています。このことについて、あなたのお考えをお聞かせください。



367人(77.6%)が「必要である」と、協力店制度に対する関心度の高さがうかがえます。

【問】あなたは買物をする時、買物袋(スーパーバック)を持参していますか。



「常に持参」「時々持参」に計134人(28.3%)が回答。うち男性が35人(20.6%)、女性が99人(32.7%)と女性の方が高い率になっています。

調査対象 平成7年度の市政事務嘱託員270人と各行政区(270町内)から1人ずつを調査者としてお願いしました。

調査方法 郵送による回答

調査期間 平成7年9月11日～21日

回収数 473/540人(87.6%)

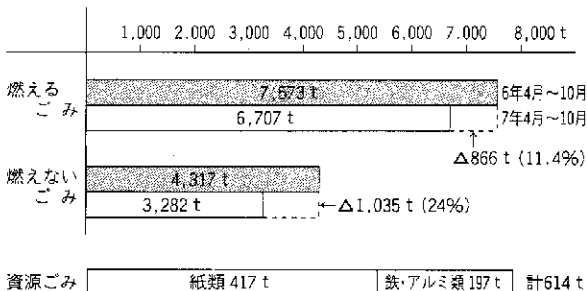
	20歳代	30	40	50	60	70	計(割合)
男性	0	10	45	53	56	6	170人(36%)
女性	7	40	98	97	60	1	303人(64%)
計	7	50	143	150	116	7	473人(100%)

1,900ト、約3,800万円分の 4~10月 ごみ減量化

昨年7月から始めた「指定袋の導入」「持ち込みごみの有料化」、今年4月からの「資源ごみの分別収集」は、ごみの減量化、資源の再利用化に大いに効果を上げています。

収集ごみについては、今年4月から10月までの7か月間の状況を昨年と比べてみました。燃えるごみ、燃えないごみを合わせて1,901ト減ったこととなります。平成6年度の処理経費が1ト当たり2万円ですから約3,800万円の節減となります。

また、資源ごみは同期間で紙類、鉄・アルミ類を合わせて614トが回収され、率にしてごみ総排出量10,603トのうち5.8%が再資源化されたこととなります。



快適な環境に

し尿処理場整備工事

十日町市川西町衛生施設組合では、現在のし尿処理場（昭和39年建設、52年一部増設）の施設が老朽化していることから、施設整備工事を進めます。今月22日（金）に起式を行い、完成は平成8年12月末の予定です。

総事業費は4億5,100万円。52年増設部分の施設を主体に整備を進め、既存設備を更新します。

今回の整備工事により、施設から発生する臭気が減少し、また放流水も良質となり、し尿処理場周辺の環境も改善されることとなります。

なお、整備工事の計画にあたり西部地区振興会はじめ関係者の皆さんより、「この際、施設を移転していただきたい」との陳情がありましたが、検討の結果、平常業務を行いながらの、既存施設の有効利用と各種設備の更新による整備工事とすることになりました。

■ 工事概要

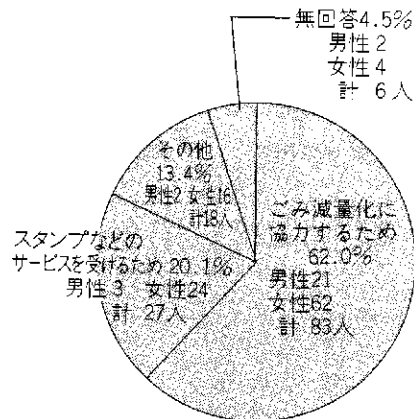
① 公共下水道の普及により、減少した処理量に合う処理施設（処理能力90kl/日から65klに）とし、経済的な効果を上げます。

② 脱臭設備の更新 — アルカリ、苛性ソーダ等を使用する薬品脱臭を行う設備に変え、脱臭効果を上げます。

③ 汚泥脱水設備の更新 — 脱水機を更新します。

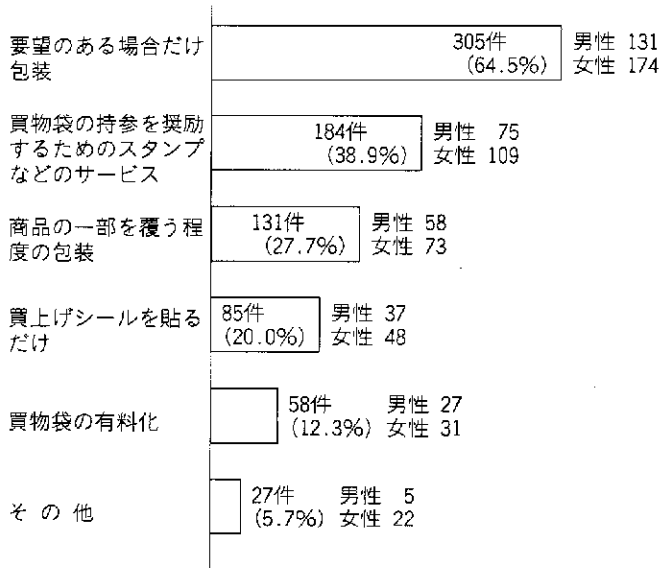
④ 放流設備の更新 — 放流水の消毒を液体塩素から次亜塩素酸ソーダ消毒の設備に変え、放流水を良質にします。

【問】「常に持参」「時々持参」と答えた方にお聞きしますが、どのような理由でしょうか。



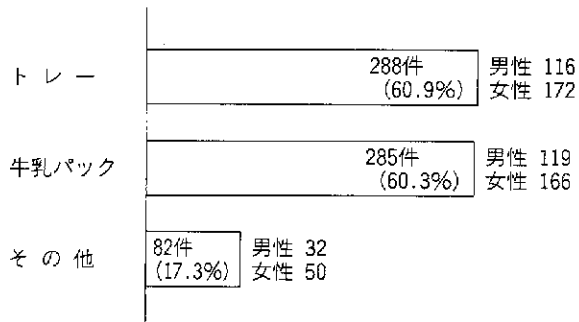
134人中83人（62%）が「ごみ減量化に協力」と、ここでも関心の高いことがうかがえます。

【問】「ごみ減量化協力店」が簡易包装などに取り組む場合、どの程度の内容を望みますか。2つまで答えてください（複数回答）。



「要望のある場合だけ」が305件（64.5%）、次いで「買物袋の持参を奨励するためのスタンプサービス」「商品の一部を覆う」の順になっています。

【問】資源の再利用のために「ごみ減量化協力店」で、どんな品物を店頭回収してもらいたいと思いますか（複数回答）。



日常なじみの「牛乳パック」「トレー」とも60%を超えています。



78人の地域福祉のコーディネーター

新しい**民生・児童委員**さんです

任期は平成10年11月30日まで

厚生省では、12月1日付で民生・児童委員を改選し、新しい委員を委嘱しました。今回は受け持ち世帯の均衡を図るため、当該区域の見直しにより2人増員し78人となりました。任期は平成10年11月30日までの3年間で、地域福祉のコーディネーター（相談役）として活躍していただきます。

委員の皆さんを厚生省に推薦するにあたっては、次のような方針に基づきました。

①区域内での調整を基本に、名誉職的な人でなく区域のコーディネーター的な人を選びました。

②多様化している福祉ニーズに応

十日町地区 21人

- ※担当者名(町内)：担当地区(敬称略)
- 本田雅子**(本町1上 ☎52-2358)：本町1上・1下、本町東
- 矢口シン**(学校町2 ☎57-4092)：宮下町東、西、諏訪町、学校町2
- 関口英夫**(本町4 ☎57-3828)：本町3・4・5、稻荷町1
- 根津正信**(本町6-1 ☎52-3405)：本町6-1・6-2・6-3
- 田村 佳**(昭和町1 ☎52-3232)：袋町東・中・西、昭和町1

えるため、社会福祉に対する理解と熱意があり、経験豊富で区域の実情に通じ積極的に活動できる人を選びました。

③現在進めている「ふれあいのまちづくり事業」の福祉協力員と連携した、一人暮らしのお年寄り等への見守り・声かけ・安否確認や、ふれあい給食サービスの充実等、区域内での助け合い活動が強く望まれているため、女性の民生・児童委員の割合に配慮しました。

④国・県の方針に基づき、新任の委員は65歳以下、再任の委員は75歳未満の人を選びました。

- 後藤和子**(高田町2 ☎57-1590)：高田町1・2、栄町、昭和町2
- 樋口 靖**(高田町3西 ☎57-3226)：高田町3西・3南
- 柳フミ子**(高田町3東 ☎52-2768)：泉町、高田町3東、丸山町
- 中林辰男**(西寺町 ☎57-4428)：昭和町3、西寺町、七軒町、加賀糸屋町、関口樋口町
- 目黒リエ**(駅通り ☎52-2205)：昭和町4、駅通り、西浦町東、西
- 金子芳夫**(稻荷町3本通り ☎57-4833)：稻荷町2・3東・3本通り・3南・3北

中条地区 12人

- 今井洋子**(稻荷町西 ☎57-2516)：稻荷町西、西本町1・2
- 柳準一郎**(下川原町 ☎52-3464)：西本町3、八幡田町、下川原町
- 渡辺幸麿**(神明町 ☎52-2502)：神明町、水野町、学校町1、若宮町、田中町東・西
- 庭野 勇**(田中町本通り ☎52-557)：田中町本通り、川原町、上川町
- 西野幸雄**(田川町3 ☎57-8339)：田川町1・2・3
- 佐藤孝子**(鳥 ☎52-2054)：千代田町、稻荷町4、鳥
- 庭野忠郎**(赤倉 ☎57-9347)：江道、猿倉、津池、菅沼、大池、赤倉
- 越村輝夫**(新座1 ☎57-2832)：新座1・2
- 高橋三五郎**(新座4-1 ☎52-951)：新座3・4-1・4-2
- 庭野一義**(本町7-2 ☎57-4657)：本町7-1・7-2、三和町
- 小堺 勝**(南新田町3 ☎57-3804)：南新田町1・2・3
- 芦田悦子**(四日町新田3 ☎57-0055)：四日町新田1・2・3・4
- 田村マサ子**(四日町2 ☎57-80)

**こんな活動を
声をかけてください**

78人の民生・児童委員は国から委嘱された皆さんです。主に次のような活動を行います。プライベートは守られますので遠慮せずにご声かけください。

■生活に困っている世帯に生活保護を必要としている人がいた場合は、社会福祉事務所に連絡するとともに、申請手続きについて仲立ちをします。

また生活福祉資金の利用者については、借入れ申し込みから返済まで相談に応じています。

■お年寄り・お年寄り世帯にホームヘルパーの派遣やデイサービス、短期入所、在宅福祉事業(車イス・ギャジベット・オムツ・緊急通報装置貸与など)等のサービスを行うため、利用者や社会福祉事務所、在宅介護支援センターとのパイプ役となります。

■障害者の人に
身体障害者や精神薄弱者の世帯の相談相手となり、身体障害者手帳の申請、更生医療の給付、補装具の交付、更生援護施設への入所などについて社会福祉事務所と連絡をとり、それぞれ合

- 97) : 四日町1・2・3・4
- 小川英二(尾崎57-8016)
- : 四日町中原、五軒新田、尾崎
- 星名武男(中条旭町57-019)
- 3) : 太子堂、中条旭町
- 大熊ミチ子(上原57-9035)
- : 塚田、中条八幡、上原、上原
- 新町
- 尾身範子(旭ヶ丘57-8561)
- : 旭ヶ丘、上町
- 岡田トシエ(中町57-2613)
- : 背戸、中町、下町
- 金沢信平(中条島57-814)
- 3) : 中条島、峠
- 佐藤和人(北原57-8177)
- : 梅沢、中条新田、北原、市之
- 池田マサ子(轟木59-2303)
- : 嘉勝、轟木、焼野、池谷、魚
- 之田川、蕨平、三ツ山、上田原
- 橋本貞雄(新水59-2052)
- : 新水、宇田ヶ沢、中条菅沼、
- 山新田、小貫、東枯木又、西枯
- 木又

吉田地区 8人

- 児玉藤吉郎(稲葉57-661)
- 6) : 稲葉、吉田山谷
- 佐藤利恵(小泉357-624)
- 0) : 小泉1・2(西浅ヶ原を
- 除く)・3
- 春日ハルエ(樽沢57-9869)
- : 樽沢、小泉2(西浅ヶ原)
- 吉沢 成(北鑑坂157-664)

- 0) : 北鑑坂1・2・3
- 斎木喜平治(南鑑坂57-691)
- 5) : 南鑑坂
- 朝日芳夫(高島157-2972)
- : 高島1・2
- 尾身益雄(鉢157-0629)
- : 鉢1・2、中手
- 小海勝英(名ヶ山57-0873)
- : 中平、名ヶ山

川治・六箇地区 16人

- 遠田 徳(川治上町252-27)
- 93) : 川治上町1・2、川治
- 中町
- 林 美智(川治下町357-54)
- 45) : 川治下町1・2・3
- 村山節子(妻有町東157-49)
- 93) : 妻有町東1・西1・西
- 2、河内町
- 関谷アキ子(川治内後57-42)
- 54) : 川治内後、谷内丑1・
- 2
- 宮澤東四郎(北新田252-33)
- 22) : 北新田1・2・3
- 小林哲夫(城之古東町57-57)
- 66) : 城之古1・2・3、城
- 之古東町、塚原町
- 徳永千三(山本町252-262)
- 8) : 山本町1・2・3・4・
- 5
- 樽澤紀子(寿町2・357-33)
- 78) : 千歳町、寿町1・2・
- 3・4
- 桑原光江(錦町157-900)

下条地区 8人

- 1) : 錦町1・2、美雪町1・
- 2・3、桜木町
- 小野塚キユコ(高山357-45)
- 22) : 高山2・3・4
- 千原紀子(春日町252-393)
- 9) : 春日1・2・3
- 柳 澄男(高田町452-362)
- 5) : 高田町4・5・6
- 羽鳥孫一(浅之平57-1797)
- : 関根1・2、浅之平、笹之沢
- 風間義子(長里57-9653)
- : 落之水、池之平、孕石、樫木、
- 長里
- 富井スミ(六箇山谷57-804)
- 5) : 中村、六箇山谷、麻畑
- 徳山正之(二ツ屋52-4227)
- : 出麦、二ツ屋、船坂、塩ノ又

- 近藤泰男(上新田156-286)
- 6) : 上新田1・2・3、山際
- (板橋)
- 樋熊忠一(廿日城55-2011)
- : 上新田4、廿日城、下条栄町
- 佐藤キヨ(岩野55-2786)
- : 山際、原、岩野
- 丸山忠(下条中央通り55-23)
- 33) : 下条中央通り、桑原、
- 蟹沢、野田
- 保坂 久(下条本町55-200)
- 1) : 下条本町、貝ノ川
- 佐藤修子(新光寺55-213)
- 2) : 新保、水口、下山、新光
- 寺

水沢地区 13人

- 村山豊平(為永55-2280)
- : 為永、山根、仙之山、塩野
- 水落郁男(二子56-2335)
- : 平、願入、瀬野、慶地、二子
- 富井ヨシ(水沢358-3822)
- : 水沢1・2・3、珠川
- 富井満智子(馬場258-206)
- 3) : 馬場1・2・3・4
- 上村哲男(太田島258-204)
- 0) : 太田島1・2・3
- 上村勝三郎(土市158-283)
- 4) : 土市1・4
- 樋口千基(土市258-289)
- 2) : 土市2
- 高野恒善(土市558-215)
- 6) : 土市3・5
- 上村宇一(新宮158-231)
- 8) : 新宮1・2、幸町
- 宮澤春雄(伊達458-283)
- 6) : 伊達1・2・3・4
- 宮澤禮子(小黒沢58-239)
- 2) : 大黒沢1・2、大黒沢東
- 小黒沢
- 古澤カツエ(安養寺58-308)
- 0) : 姿1・2、安養寺
- 樋口一平(大石58-3923)
- : 水沢市ノ沢、中在家、大石
- 桑原宣一(鉄柄沢58-363)
- 4) : 当間、漆島、池沢、野中、
- 鉄柄沢
- 保坂 正(細尾58-2343)
- : 天池、細尾、池之尻、南雲

主任児童委員もいます

主任児童委員は児童にかかわる心配ごとなどについて、担当区域の民生・児童委員といっしょになって、家庭や地域、学校等と連絡を取り合いながら、その問題を解決するお手伝いをする皆さんです。何かありましたら、お近くの主任児童委員にご連絡ください。

高橋重雄(高田町252-2567) 根津貞夫(新座157-6710) 堀あつ子(中条旭ヶ丘57-6029) 倉本美代子(美雪町357-4633)

田中伶子(吉田山谷57-5481) 村山秀子(為永55-2114) 村山眞(土市358-3260)

ふるさと妻有の夢を語る

まちづくりシンポジウム・i・n・妻有郷

11月22日(水)・23日(木)とマウンテンパーク津南KAGANで、「広域連携による地域づくり」をテーマに「平成7年度まちづくりシンポジウム・i・n・妻有郷」が開かれ、延べ320人が参加しました。

このシンポジウムは、新潟県と妻有地域の市町村の住民で組織する、まちづくりシンポジウム実行委員会が主催し、十日町地域ニューにいがた里創プラン策定協議会、十日町市、川西町、津南町、中里

22日水

村、松代町、松之山町などが共催して開いたものです。

第1日目は、「広域連携による地域づくり」と題した養原敬さん(都市プランナー)の基調講演で始まりまし

た。養原さんは、「現在の成熟化した時代には、独自性を主張した固有の地域づくりを進める必要がある。それには地域の人自身が主体となり、若者の意見を生きか

し、話し合いの上で決まったことに対しては全員で向かうというルールを確立する必要がある。

妻有地域にはブランド産の米がある。火焔形土器が出土する縄文銀座である。山や川、きれいな自然の財産がある。地域づくりとなる素材を連携しながら探り出し、それを施策として反映させるよう

に関係機関へ訴えていかなければならない

とアドバイスしました。

続いて、「地域づくりは、夢づくり人づくりから」をテーマに、平山征夫県知事、小林達雄さん(国学院大学教授)、藤巻秀正さん(彫刻家・十日町市)、高津富士男さん(農業・川西町)、小見美晴さん(主婦・松之山町)の5人のパネリストによるパネルディスカッションが開かれました。

小林さんは、「地域づくりという和外に目が向けられがちであるが、足下(地域)を常に見つめながら新しいものに目を向けていく必要がある」。藤巻さんは、「毎日の生活に満足感があり、その日のエネルギーが明日につながる町づくりが基本であると思う。石彫シンポジウムや、会員の作品を展示する公民館ギャラリーの開設などの活動に取り組んでいる」と提案しました。

平山県知事は各パネリストの意見を集約する形で、「県内には14の広域市町村圏がある。里創プランは圏域単位で、地域づくりの振興策を作り上げることであり、人間の要求は生きがいを満たすことであり、その一つは自然に触

郡市旅館・ホテル業接客研修会

「お客様喜びは私たちの喜び」

11月22日(水)、ラポート十日町で郡市内の旅館やホテルの従業員を対象に、接客研修会が開催されました。これは、来年10月の当間高原リゾートのオープンや9年4月の北越北線の開業に向け、地域内の観光客受け入れ体制の向上を図ろうと、十日町市観光協会が主催したものです。

受講生36人は、講師の会田先生から、身だしなみ、話し方、立ち振る舞いなど基本的な接客の話を聞いた後、襖障子の開け閉め、美



美しい歩き方の実技指導

第8回市民演劇まつり

「4団体が多くのファンを魅了」

11月23日(木)・26日(日)の両日、市民会館ホールで「第8回市民演劇まつり」が開催されました。



庄屋と美人の娘に鬼退治を頼まれる太郎

23日は、演親会と劇団御の字が出演しました。ふんどしかつぎがつらくて相撲部屋を逃げ出してきた太郎が、地蔵様から不思議な力をもらい、鬼退治をするという内容の「ふんどしかつぎと地蔵さま」を上演した演親会は、いつものように妻有地方の方言をふんだんに使い、場内の笑いを誘っていました。また26日は、劇団たんぱとGOKURAKU本舗が出演し、両日ともたくさんの方の演劇ファンでにぎわいました。

23日木

れることである。例えば、ほくほく線開業をとらえた場合に、では地域の自然と文化をどのよな財産とするのか、活用を考えなければならぬ」と助言しました。

第2日目は6つの分科会で、「雪にこだわった地域おこし」「歴史・芸術・文化はふるさとづくりのキーワード」「地域の原風景や産業

おとなり塩沢町との夢を語る

地域交流と道路整備懇談会

11月30日(木)、塩沢町のシャトーテル一本杉で「地域交流と道路整備」を話し合う懇談会が、十日町市と塩沢町の主催(県土木部、六日町土木事務所、十日町土木事務所)の協賛)で開かれました。

を観光リゾートに活かす」「上質な情報発信で地域が輝く」「何かがきらりと光る21世紀の地域農業」「地域づくりは人と人とのネットワーク」をテーマに話し合われ、各部会より雪のイベントをネットワーク化しよう、子供たちの郷土学習を進めよう、情報発信は外向けと内向けを区別しなければならぬ等、が報告されました。

続いて、前口のパネリストの小林さんの「縄文の心」と題する記念講演が行われ、「遠く縄文の人たちは狩猟、漁労、採集の生活を自然と共生しながら行ってきた。全国で発掘されている遺跡には、それぞれ文化がある。この地域の多くの貴重な遺跡を、ぜひ町づくりを生かしていただきたい」とアドバイスしました。

同懇談会は、工事が進められている大沢山トンネルの開通によって期待される、十日町市と塩沢町の交流の可能性を提案するとともに、早期開通の必要性を関係機関に働きかけていこうと計画されたものです。

魚沼丘陵の峠が交流を阻んできた。大沢山トンネルが開通すると30分で行き来ができ、通勤・通学圏にもなり、各種の交流が生まれてくるであろうし、両地域をつなぐ観光ルートや新しい共催事業も考えられるのではないかと。さらには県南地域の中魚沼と南魚沼の発展にメリットを及ぼす社会基盤整備の工事としても重要である」などの意見が出されました。



写真左から福島さん、丸山さん、池田さん

十日町市からは池田耕平さん(市観光協会会長)、丸山秀二さん(十日町商工会議所副会頭)、福島けい子さん(爾工房珠川代表)の3人が、塩沢町からは4人が出席し、佐久間・六日町土木事務所長の司会で話し合いが進められました。

同トンネルは、当市の楯柄沢と塩沢町大沢山を結ぶ全長2千690mで、昭和61年度から取付道路工事に、平成4年度からはトンネル工事に着手し、6年度からは国の交流ふれあいトンネル・橋梁整備事業となり、進捗率33%、貫通は14年度の予定になっています。

'95 デザインマインドフェア

「おしゃれ心のあるまち十日町」

11月23日(木)26日(日)の間、クロス10において「95デザインマインドフェア」が開催されました。

期間中は、「江戸」をテーマに市内のきものデザイナーが制作したデザイン画40点が展示されたり、地域内唯一の絞りサークル「藍・遊・夢」展が開催されたりして多数の入場者でにぎわいました。

また、23日(初日)には「きもの」と「おしゃれ」と「江戸文化」をテーマに、川本敦久氏(金沢美術工芸大学教授)、宮崎倉治氏(クリ



宮崎倉治氏によるスペシャル・スピーク

すこやかECHO講演会

「すこやか」に老いるために

11月29日(木)、クロス10において「すこやかECHO講演会」が開催されました。これは、すこやか

エコー推進員制度が発足したことを記念して開催されたものです。

当日は、新潟県環境保健部長・稲葉氏による記念講演に続き、関口陽子さんによる「すこやかトーク&エコー体操」が行われました。各地区公民館では、すこやかエコー体操のパンフレット配布や、30分物のカセットテープを持参した人には体操の音楽が入ったテープとの交換をしています。また、体操のビデオテープも貸し出していますのでご利用ください。



記念講演をする稲葉部長

みんないきいき サークル交流録 PART 57

「十日町将棋愛好会」

(会長：古沢一夫)



前列中央の伊藤 果 (7段) プロを囲む会員

十日町将棋愛好会は昭和55年ごろから続いている同好会です。現在会員は約50人(月極め会員15人、日極め会員35人)いますが、そのメンバーたるや市内在住の者はむろん、川西町、中里村、松之山町に住んでいる人など多方面にわたり、職業も様々な集まりです。でも将棋に対する情熱は皆さん共通で、(精神的に)若い会員たちは日ごろから練磨を重ねながら少しでも強



熱戦続く将棋道場

くなって、並みいる強豪に勝つことを夢見ているのです。競技会も年4~5回行っていますが、その日は大会で盛り上がり、慰労会でも将棋の会話が弾み、飲んだ後も将棋を楽しむというぐあいに、一日中将棋に明け暮れることとなります。厳しいながらもそこには和気あいあいとした楽しい将棋人生があるのです。

人生80年超時代となった今日、多様な趣味を持つことは大切です。将棋を趣味の仲間に加えようと考えている人はいらっしゃいませんか。初心者もベテランも大歓迎です。ぜひ将棋会所(私たちは『道場』と呼んでいます)へどうぞ。天狗たちに挑戦してみてください。『道場』は山本4地内、車庫の2階を借りてやっています。詳しいことは☎52-2308(道場)または☎57-6849(古沢一夫)までどうぞ。

土・日曜は午後1時30分ごろから(特に土曜日は夜8時からの部もあり)、平日は午後2時ごろ(不在の場合あり)からやっています。

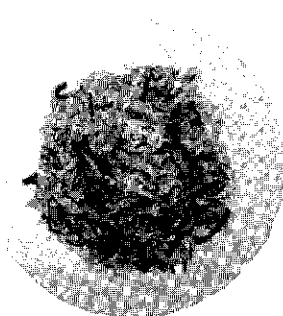
- ①大根・人参は4~5cmの長さに千切りし、さつとゆでて水にさらしてあげる。
- ②れんこんはいちよう切りにし、酢水にさらしてザルにあげる。
- ③干しいたけは水にひたして石づきを取り千切りにする。
- ④しらたきは熱湯でゆで、4~5cmの長さに切る。



見玉 竹さん
(稲葉・☎57-0355)

へ作り方」
また、お茶受けにもさつぱりとしていて喜ばれます。

五目なます



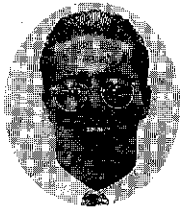
- あつさりした味付で、秋野菜が豊富にとれます。肉や魚・ナベ料理の後で、さつぱりとした五目なますを食べるとまた食欲が出ます。
- ⑤油揚げは油を抜き、袋を開いて二つ割りにして切る。
- ⑥きゅうりは4~5cmの長さに切り、塩もみして洗う。
- ⑦鍋にサラダ油を熱し、その中に①~⑤を入れて手早くいため、④の調味料を加える。おろす直前にみりんを加える。
- ⑧具が冷めたらきゅうりを混ぜ合わせ、ごま油、酢を加える。

〈材料〉 4人分
大根…300g、人参・れんこん…各50g、油揚げ…1枚、しらたき…100~200g、干しいたけ…2~3枚、きゅうり…1本、正油…大さじ3、砂糖…大さじ2、塩…小さじ1/2、酒…大さじ1、みりん…大さじ1、ごま油…少々、酢…大さじ2

やまな会 (十日町市食生活改善推進委員協議会)

おすすめメニュー

29



ALternatives^④

Aaron Peters (エアロン・ピーターズ)

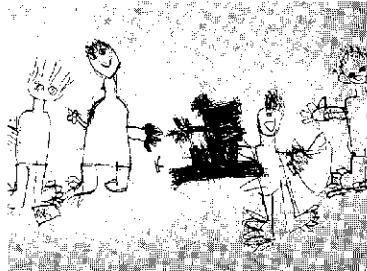
This is the third American holiday that has come and gone since I have been in Japan, but it has been the most important. In the US, Thanksgiving Day is a time for getting together with a group of people, eating a huge meal, and falling asleep in front of the TV. It is a day for relaxing and watching football, although I doubt that my mother would agree (she makes the meal). But most of all, it is a time for spending with friends and family. This has been the first Thanksgiving I have ever spent away from my family, and it has made me think about what this day is really about. The meaning of Thanksgiving today is much different from the meaning of the first Thanksgiving. When the first settlers came to America, they found that the foods they were used to farming would not grow in the new country's soil. Realizing that they would not have enough food to get them through the harsh Massachusetts winter, the Native Americans showed the settlers how to grow corn, which would eventually see them through the snowy months. In thanks for this knowledge, the settlers prepared a feast to share with the Indians. This was the first Thanksgiving Dinner. This Thanksgiving, as I sat with the other Chuetsu ALT's, eating curry and rice, I was left thinking about what Thanksgiving really means (I was also left very hungry).

日本に来てから3つめのアメリカの祝日(11月23日)が過ぎましたが、今回は特に大切な祝日でした。アメリカでは、感謝祭はみんなが集まってごちそうを食べ、そしてテレビの前で居眠りをして過ごすという日です。その日は家でゆっくりしながらテレビでフットボールを観る日、と言うと母は養成しないかもしれませんが(料理担当なので)しかし何よりも、この日は家族や友達と過ごすのが大切なのです。家族と離れて感謝祭を過ごしたのは初めてだったので、この日が本当は何の日だったのかを改めて考えさせられました。現代の感謝祭の意味は最初のものとはだいぶ違っていています。最初の移住者が今まで育ててきた作物がアメリカの土では育たないことに気づき、厳しいマサチューセッツの冬をのりきれぬかと不安になり始めた時、アメリカ先住民(インディアン)がどうもこの作り方を教えてくれ、降雪期にも書とておけるようになったのです。この教えに感謝して、移民たちがインディアンと分かち合って食べるごちそうを作ったのが最初の感謝祭の食事です。今年の感謝祭は、中越地区のALTとカレーライスを食べ終わったので、感謝祭の本当の意味って何だろうと考えながら過ごしたのでした。(それにとでも空腹を1日でした)

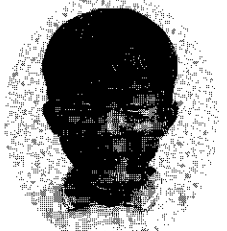
じょうずに描けたね!

高山保育園

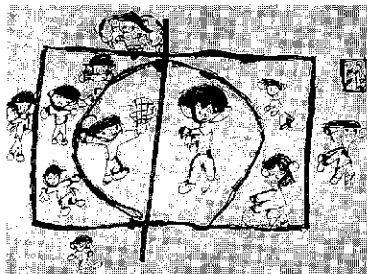
129



保育所の友達と積木遊びをしているところだよ。みんなでひみつ基地を作っているんだ。ほかにもいろいろ作れるんだよ。



平野雄大くん (6歳)



保育所のホールでドッジボールをしているんだよ。男の子にだって負けないように、もつと練習してじょうずになりたいの。



半戸友梨亜ちゃん (6歳)

私は東枯木又で五人兄妹の三番目として生まれました。ほかにも上に一人、下に二人いたのですが、幼いときに亡くなってしまいました。昔は栄養失調みたいな赤ん坊は亡くなったんですね。家が貧乏だったので小学校を卒業して埼玉県の製糸工場に働きに行きました。そこで四年間勤め、十日町の田中町の機屋で住み込みのご飯をしました。当時の機屋は、工場の人もみんな住み込みで働いていました。働いたお金は、どの人もそうだったと思うけど自分のこずかい銭を取って、あとはみんな家に送りしていました。



藤木マスさん (轟木・82歳)



二十五歳のときお嫁に来ました。来たばかりのときは、小学校卒業後ずっと工場勤めだったから、お百姓仕事に分からなくて、家の衆に教えてもらったんです。出機は、せがれが嫁さんをもらって、嫁さんが出機を織るようになったんで昭和四十五年にやめたんです。私は外で鎌や鋏を持って外で仕事をすること、あんまり遠くない所に旅行することが好きなんです。外仕事は膝と跨節を悪くしてしまっただけでやめてしまいました。湯治と東京にいる子供たちの所に行くのは続けています。今年三月の地下鉄サリン事件の次の日、東京の娘の所へ遊びに行きました。娘の亭主の乗った電車の一本後が被害にあったそうです。びっくりしました。今の楽しみは、羽根川荘や三好の湯に行つて、なにかも忘れてばかっ話をする事かな。

57-3111

北越急行株社員募集

職種・募集人員

職種	募集人員	主な職務内容
電種	4名	総務関係業務に従事します。
総務	1名	総務関係業務に従事します。
経理事務	1名	経理関係業務に従事します。
電気技術	2名	電気関係(電力、信号、通信)の業務に従事します。

※必要に応じて他職種に従事させる場合があります。(入社日:平成8年4月1日)

資格

①原則として平成8年4月1日現在で40歳未満であること
②高校卒業以上の学歴を有すること
③総務及び経理事務は1年以上の実務経験を有する者
■受付期間 12月18日(月)～平成8年1月19日(金)(最終日の消印有効)

待遇

基本給・年齢、経験年数等を勘案し決定(参考)・30歳で206,000円程度、その他諸手当有り

申し込み

受験申込書(地域開発室にあり)を北越急行株総務課(〒50新潟市新光町4番地1県庁交通・資源対策課)へ。
■問い合わせ 地域開発室北越北線対策係(☎内線203)へ。

手数料が改正されます

戸籍・除籍等の料金が1月1日から改正されます。

種別	現行	改正額
戸籍の謄本または抄本1通	400円	100円
除籍の謄本または抄本1通	700円	200円
戸籍の記載事項証明書1件	300円	350円
除籍の記載事項証明書1件	400円	450円
戸籍の変更等の証明書1通	300円	350円
令5号ただし書の証明書1通	1,000円	1,400円
届書等の閲覧	書類1件 300円	250円

家屋の取り壊しや異動は手続きを

異動は手続きを

■問い合わせ 市民課市民係(☎内線10)へ。
■対象 ①家屋の全部または一部を取り壊した人 ②未登記家屋(法務局に登録していない建物)で、売買・贈与・相続などで異動があった場合等です。
■問い合わせ 税務課資産税係(☎内線11・12)へ。

登記地目「田」を田として利用していない人は届出を

■対象 ①登記地目が田で、現況は転作などで永年作物(植林・果樹・アスパラ)が植えられている土地 ②水田を放棄し、今後水田として耕作できない状態(かんがい・たんすい設備が壊れているなど、水利用が困難な状況)の土地。ただし、水田として復旧できる形態で、現況を畑などにしてある土地やすでに届け出したものは除く。(届け出には、田の地番を把握し、印鑑を持参してください)

工業統計調査

12月31日現在で「平成7年工業統計調査」が実施されます。この調査は工業の実態を明らかにすることを目的としています。
12月下旬に調査員が、調査票の記入のお願いに伺います。ご協力をお願いします。

■対象 製造業を営む事業所
■調査内容 事業所名、従業員数、製造品出荷額、原材料使用額等
■問い合わせ 総務課文書統計係(☎内線224)へ。

年末年始は市の業務を休みます

市役所	業務を休みます
市民課	12月29日(金)～1月3日(火)まで、平常業務を休みます。ただし、市民課の業務課・保健衛生課・会計課の窓口は20日(金)の午前8時30分～午後5時15分まで業務を行います。
公民館	12月29日(金)～1月3日(火)まで休館します。
博物館	12月27日(水)～1月4日(火)まで休館します。
武道館	12月29日(金)～1月3日(火)まで休館します。

冬休み短期水泳教室

■とき 12月23・24・25・26・28日午前10時30分～正午
ただし、24日(日)は午後1時～3時(バスが出ません)
■料金 会員:5,000円 一般:6,500円

■申し込み 十日町体力づくりスイングスクール(☎58-3343)へ。

日本一の健康都市をめざして
すこやかEG-HO
■問い合わせ 保健衛生課 保健衛生係 ☎内線141・142

今回は、EGHO(エコー)の「C」コミュニティづくりについてご紹介いたします。
吉田地区では、平成6年5月から「お達者会」という、家に閉じこもりがちなお年寄りを対象に、一日楽しく過ごそうという集まりを月1～2回行っています。初めは、保健所や保健衛生課、公民館が計画準備してきましたが、その後は積極的なボランティアの参加や地区振興会の応援にまで輪が広がって、今や「吉田地区のお達者会」になっています。参加者25人、ボランティア19人、振興会の支援にまで至った秘訣を、南鏡坂の丸山ハツ子さんに伺いました。

ボランティアに参加して、初めてボランティア活動を行った時感じたことは、参加者のおじいさん、おばあさんの笑顔でした。朝来た時の、あのいい笑顔と、はずんだ声のあいさつで、一日の楽しさが伝わってきます。月1～2回では

足りないような気がします。何回か会っているうちに、心を開いて昔のことや、自分のことを話してくるようになってきました。ある日の朝、あいさつをかねてそれぞれの若かりしころの初恋談話をやっただけですが、一生懸命話している姿、日の輝きがとても楽しくその姿を見たときですが、私たちの出番とばかり、目をキラキラさせながら作っている姿は、私たちボランティアやスタッフが圧倒されました。そして、ある参加者は「自分は話をしたいけど、心よく聞いてくれない」と言っていました。そんなことはないんだけど、感じやすい人たちなんだなと思ひ、私としては「きく耳」を持つようになりたいと思ひました。
生活環境の見直しが大切
福祉は進んでいます。高齢者や自宅療養の人が多くなっています。高齢者になれば住み慣れた家と地域に、住み続けることが一番だということは当然です。しかし、現実には介護しにくい住宅だったり、身体的にも精神的にも介護する側、される側もクタクタだったりします。自宅は生活の基盤です。そこに住み続けられるようにしていくことは、高齢化社会の福祉における前提です。
これからも、少しでもお年寄りに笑顔で接し、一声かけるようにしていきたいと思ひます。

12月 交通安全キャンペーン

■年末の交通事故防止運動
 ～ 12月11日(月)から12月31日(日) ～
 飲酒運転を
 追放しましょう。
 みんなで注意して
 明るい年末年始を
 迎えましょう。



11月中の交通事故発生状況 ()は累計

市町村	発生件数	負傷者数	死者数
十日町市	平成7年 29(190)	32(215)	0(5)
	平成6年 24(192)	27(225)	0(6)
川西町	平成7年 11(117)	11(134)	0(5)
南里村	平成6年 10(104)	10(116)	0(2)
計	平成7年 40(307)	43(349)	0(10)
	平成6年 34(296)	37(341)	0(8)

事故発生
 11月24日(土)午後6時20分ごろ、市内南新田町3丁目地内において、56歳男性が道路横断中、21歳男性の運転する軽ライトバンにはねられて、頭部等に重傷を負うという重大事故が発生しています。
 ※歩行者も夕暮れから夜にかけて、車の運転者からは発見しにくくなりますので、どちらも充分注意しましょう。

12月1日は 世界エイズデーでした

エイズに関する相談は、お気軽に十日町保健所(☎57-2400)へ。

準備し

第47回十日町雪まつり プレイベント

- とき 12月16日(土)午後6時～(受付は5時30分)
- ところ ラポート十日町
- 入場料 3,000円
- ゲスト 美波伯周さん(作曲家) 本多雅代さん(95キリン生ビールキャンペーンガール)
- 内容 雪まつりポスターの発表、雪上カーニバル出演タレント・企画概要の発表、ゲストによるアトラクション、お楽しみ抽選会ほか
- 問い合わせ 雪まつり事務局(クロス10 ☎57-3345)へ。

も多くの人が書きたしさを味わってもらうため、第一回市民書初大会を開催します。

- とき 平成8年1月21日(日) 午前9時30分～正午(受付は午前9時)
- ところ クロス10(大ホール)
- 参加費 大人(高校生を含む)1,000円、小・中学生500円(当日徴収)

- 課題 児童用書初用紙(69×17cm) 雪国の春 新春の朝 協会支給の消費用紙(5枚)を使用
- 申し込み 岩田武(本町 ☎57-2468)へ。

応募者	課題	用紙
小1	ゆき	児童用書初用紙
小2	お正月	児童用書初用紙
小3	雪祭り	児童用書初用紙
小4	雪国の春	児童用書初用紙
小5	新春の朝	協会支給の消費用紙
小6	協会支給の消費用紙	協会支給の消費用紙
中1	協会支給の消費用紙	協会支給の消費用紙
中2	協会支給の消費用紙	協会支給の消費用紙
中3	協会支給の消費用紙	協会支給の消費用紙
大人(高校生)	協会支給の消費用紙	協会支給の消費用紙

体育・スポーツ

第17回十日町・新雪 ジョギングマラソン大会

- とき 1月2日(火)午前10時開会式(受付は8時30分)
- 集合場所 十日町中学校
- 種目 3km・5km・10km・ハーフ(21・097km)、性別・年齢制限なし
- 参加費 一般2,000円 高校生以下1,000円
- 申し込み 12月20日(水)当日消印有効)までに所定の申込用紙に必要事項を記入し、住所・氏名を記入した返信用ハガキと参加費を添えて、直接または現金書留で、大久保善雄(新座1・☎57-8638)か総合体育館(☎57-4377)へ。

有害環境浄化市民総決起大会

青少年の健全育成に市民の力結集

11月28日(火)、市民会館ホールで県内初の「有害環境浄化市民総決起大会」が開催され、400人を超える市民が参加しました。
 これは、ここ数年県内でも興味本位にテレホンクラブやツインショットダイヤルなどを使った青少年の性犯罪が多発していることから、官民一体となってその防止に努めようと、青少年育成十日町市民会議が主催したものです。



あいさつに立つ西野市民会議議長

西野市民会議議長が「市内の有害環境の排除は市民の手で」とあいさつに立つ。市民会議が主催したものです。

JA十日町市がカーブミラーを14基寄贈

11月21日(火)市長室において、十日町市農業協同組合(小林組合長)から、カーブミラー14基の寄贈がありました。

これは毎年、新潟県生命共済農業協同組合が十日町市農業協同組合を通じて市に贈っているものです。過去に交通安全指導車や行政無線なども寄贈されています。

市では今後、地域要望のある所などに設置していく予定です。



目録を手渡す小林組合長

12月29日～1月1日 クロス10休館

12月28日(木)は午後1時まで営業。1月2日(火)・3日(水)は、午前10時～午後3時の間、物産ホール・喫茶コーナーのみ営業。
 1月4日(木)からは通常営業(午前9時～午後5時)となります。

宝暦三年（一七五三）に始まる凶作と飢饉は天明・天保の飢饉に匹敵する大飢饉でした。

同六年、代官所に願いで乞食札をもらい受けた窮民はちまたにあふれました。この窮状を伝え聞いた江戸の越後屋が妻有の窮民に救いの手をさしのべたことは以前紹介したとおりです。

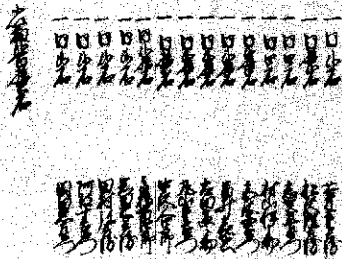
この飢饉を予測した十日町組の大割元関口庄右衛門は、五年二月、村々の庄屋に、すべての者が一日一回は粥を食べるよう勧め、「近年はぜいたくになってきたが儉約は恥かしいことではない。自分も今日から毎日粥を食べる覚悟である」と手紙を送っています。

この飢饉の教訓をいかして庄右衛門は、宝暦十年「年来の志願」であるとして「万年糶」の貯穀を有志に提案し、自らも二〇石の糶を拠出しました。村々の有志に折衝したのは新座村庄屋村山林右衛門と山本村庄屋榎沢勇助です。有志はいずれも地主・村役人二人です。庄右衛門の呼びかけによって集まった

糶は二一六石でした。

この糶の管理は庄右衛門が代表して支配しますが、すべては庄屋の寄り合いで取り仕切るものであるとし、自ら筆をとって「万年糶定め証文帳」を書きあげ、組内村々の全庄屋に配布しました。

万年糶の運用は、毎年各村へ貸付高を示し、秋の収穫後に一割の利息糶を加えて返済する定めになっていました。一人暮らしの弱者や極貧者などには、村役人が実情を調べ、与えきりや無利息にするなどの措置を講ずることになっていました。



万年糶定め証文帳

今月の表紙

表紙の写真は数年前の冬、まだ開発の手が入らない珠川台地（現在のファームゾーン上）を撮影したものです。一面の銀世界、その上に点々と見える足跡は…野ウサギ、タヌキ、それともキツネ。十日町には、こんな自然がたくさん残っています。

いま着々と工事が進行している当間高原リゾートでは、こんな珠川台地の自然と共生しようと、小動物や植物の生態に配慮した開発を行っています。

また、冬の魅力は何と言っても雪。一面の銀世界が生み出す魔力は、見る人の心をとらえて放しません。冬の魅力を全面に出したリゾート地づくりも、当間高原リゾートの特徴です。



秋がぶらさがっている？

この季節になると、林の木々はほとんどが葉を落とし、常緑樹の緑がひときり目立ちます。しかし、林の中を歩いてみると、重そうに首を垂れていた稲穂や熟したアケビのように、実をぶらさげたままの木々をいたる所で見ることができます。タニウツギの黒っぽい実のように天を突き刺すように上を向いているものもあります。

写真はカバノキ科のサワシバです。葉はすべて落ちたのに、枯れて淡い茶色になった雌花の穂（丸写真）だけが枝にびっしりとぶらさがっていました。その見事な様子に思わず足が止まりました。名は、沢に多く薪になるという意味から沢柴（さわしば）です。建材、器具材等に使われます。



編集後記

□昨夜5日、民放で「いじめ、子どもたちのSOS」という番組がありました。先日の県内中学生の自殺の出来事により放映されたものだと思います。「いじめ」を防止するためのマニュアル本や活動が紹介されました。これ以上ない悲惨な出来事が各地で報じられる今日、各種対処法を実践・努力することは重要なことですが、一方、昨年起きた愛知県の中学校長の「その後、教師と生徒で対策を講じてきたけれども、いじめに對して特効薬はないのでは」という言葉に、真剣に子供たちに毎日接している教師としての苦悩を感じました。十人十色、持って生まれた人格があるわけですから、最良の特効薬は一番身近な親と子の触れ合いのような気がするのですが。

市の動き

（11月末日現在）

■ 人口	45,578人	（前月比 +14）
□ 男	22,433人	（ 〃 - 2）
□ 女	23,145人	（ 〃 +16）
■ 世帯数	12,812	（前月比 + 1）